【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】令和6年9月9日(2024.9.9)

【国際公開番号】WO2023/238183
【出願番号】特願2024-526032(P2024-526032)
【国際特許分類】
Ｂ０１Ｄ 53/26(2006.01)
Ｆ２４Ｆ 13/20(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０１Ｄ 53/26 １００
Ｆ２４Ｆ 1/0007４０１Ｅ
Ｆ２４Ｆ 13/20 ２０７

【手続補正書】
【提出日】令和6年6月25日(2024.6.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
吹出口が形成された前面部と、吸込口が形成された背面部と、を有する箱形の筐体と、
前記筐体の内部に配置された圧縮機、凝縮器、蒸発器、膨張装置及び送風機と、
少なくとも前記圧縮機、前記膨張装置及び前記送風機を制御する制御装置を内部に収容した制御箱と、を備え、
前記筐体には、前記前面部と前記背面部とを接続する側面部に前記制御箱を嵌め込む開口部が形成されており、
前記制御箱は、前記筐体の前記開口部を介して前記筐体の内部に嵌め込まれ、前記開口部を開閉可能に前記筐体の前記側面部に取り付けられている、除湿機。
【請求項２】
前記筐体の内部には、前記開口部に嵌め込まれた前記制御箱を載置させて支持する支持部が設けられている、請求項１に記載の除湿機。
【請求項３】
前記制御箱は、凹状の箱体と、前記箱体の開口面を塞ぐカバー部材と、を有し、
前記箱体の開口縁には、外方に向かって突き出すフランジ部が形成されており、
前記制御箱は、前記筐体の前記開口部に前記箱体が嵌め込まれ、前記フランジ部が前記筐体の前記側面部に取り付けられる構成である、請求項１又は２に記載の除湿機。
【請求項４】
前記フランジ部は、前記筐体の前記側面部にヒンジ機構部を介して取り付けられており、
前記制御箱は、前記筐体の前記側面部に一部が前記ヒンジ機構部に接合された状態で、前記筐体の前記開口部を開閉可能に構成されている、請求項３に記載の除湿機。
【請求項５】
前記カバー部材は、主カバー部と、前記主カバー部に着脱可能に取り付けられる副カバー部と、を有しており、
前記カバー部材は、前記副カバー部を前記箱体に取り付けた状態で、前記主カバー部を前記箱体から着脱可能に構成されている、請求項３に記載の除湿機。
【請求項６】

前記制御箱には、前記圧縮機を対向する側面に、耐熱部材が設けられている、請求項１又は２に記載の除湿機。

【請求項７】

前記制御箱は、前記筐体の内部に嵌め込まれた状態における上面に排気孔が形成されており、前記筐体の内部において、前記凝縮器よりも通風方向の下流側に配置されている、請求項１又は２に記載の除湿機。

【請求項８】

前記筐体の内部では、該筐体を上面側から見たとき、前記制御箱の前記排気孔が形成された位置と、前記圧縮機が設置された位置と、前記送風機の吸込口が形成された位置と、が一直線上となるように、前記制御箱、前記圧縮機及び前記送風機が配置されている、請求項７に記載の除湿機。

【請求項９】

前記カバー部材には、配線孔が形成されており、

前記制御箱は、前記配線孔から内部に外気が取り込まれ、前記排気孔から外部に熱を排出させる構成である、請求項３に従属する請求項７に記載の除湿機。

【請求項１０】

前記筐体の内部では、一方の前記側面部に配置した前記制御箱の位置から、前記筐体の他方の前記側面部に向かって、前記圧縮機と前記送風機とが、前記制御箱、前記圧縮機、前記送風機の順に配置されている、請求項１又は２に記載の除湿機。

【請求項１１】

前記圧縮機は、前記筐体の内部の通風方向において前記凝縮器の表面と対向しない位置に配置されている、請求項１又は２に記載の除湿機。

【請求項１２】

凹状の箱体と、前記箱体の開口面を塞ぐカバー部材と、を有し、前記カバー部材には、配線孔が形成され、

前記配線孔から内部に外気が取り込まれ、前記排気孔から外部に熱を排出させる構成であり、

前記筐体の内部では、該筐体を上面側から見たとき、前記制御箱の前記排気孔が形成された位置と、前記圧縮機が設置された位置と、前記送風機の吸込口が形成された位置と、が一直線上に位置するように、前記制御箱、前記圧縮機、前記送風機の順で配置されている請求項７に記載の除湿機。